

令和7年度 （ 世界史探究 ） シラバス

教 科	地理歴史	科 目	世界史探究		
単 位 数	2	学 年	3 年	類 型	文系
教 科 書	詳説世界史（山川出版社）		副教材	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店） 新世界史要点ノート〔応用編〕（啓隆社）	
学習目標	資料などを活用し、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら世界の歴史の大きな枠組みを理解させる。文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	1 近世ヨーロッパ世界の動向 2 産業革命と環大西洋革命 3 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 4 アジア諸地域の動揺 5 帝国主義とアジアの民族運動 6 第一次世界大戦と世界の変容 7 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	・ヨーロッパ世界の拡大とそれに伴う社会変革の動きを理解する。 ・産業資本主義体制の確立と革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。 ・ヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズム運動背景を考察する。 ・アジア地域の動揺と植民地化の動きを理解する。 ・帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。 ・第一次世界大戦やロシア革命の背景からその後の世界の動きを考察する。 ・第二次世界大戦の背景と戦争拡大、米ソの国際的地位の高まりを理解する。
2 学期	8 冷戦と第三世界の台頭 9 冷戦の終結と今日の世界	・国際政治や経済が多極化に向かった背景を考察する。 ・冷戦後の世界の動きについて多角的・多面的に考察する。
3 学期		

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・流れや展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付け理解している。 ・資料から世界の歴史に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・定期考査 ・準拠ノート ・小テストなど
思考・判断・表現	・流れや展開に関わる事象の意味や意義などを、現代世界とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多角的に考察している。 ・歴史的課題を把握し、構想する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	・定期考査 ・準拠ノート ・課題提出など
主体的に学習に取り組む態度	・流れや展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を身に付けている。 ・多角的な考察や深い理解を通して歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。	・討論や発表 ・課題提出など